

緑陰通信

News from the shade of trees

目次

■ マイラインサービス、訪問支援	… P2
■ 県立図書館トピックス	… P3, 4
■ 郷土資料情報	… P5
■ 電算システムサービスの情報	… P6
■ 図書館の案内コーナー	… P7
■ 県立図書館からのお知らせ	… P8

※緑陰通信は県立図書館のホームページ
(<http://www2.lib.pref.miyazaki.jp/>)からもご覧いただけます。

先達の思い



宮崎県立図書館長
かね こ ひろ し
金子洋士

このたび、創立115年目の県立図書館の第52代館長を拝命し、先人たちが積み重ねてこられた歴史とそれを受け継ぐ責任の重さに、身の引き締まる思いがしています。

「読書のみに限らず、宮崎県の文化及びリ kreations のセンターとして文化・社会教育一般の中心となりたい」「県下いつぱんの産業人が、その事業や計画やの参考書類をしらべるために、氣がるに足を運べるようにしたい」「本館をよりひろくいつぱん県民の利用機関にしたい」(原文のまま)

昭和25年4月の「緑陰通信」創刊号の巻頭言で、当時の第23代館長の中村地平氏はこう記されました。それから67年が経過した今でも輝きを失っていない、まさに時代を先取りした至言です。

時代が下って平成18年度には、「Live! Library」の合言葉のもと、県立図書館の目指す姿として「人づくりと地域づくりに役立つ図書館」が定められ、爾来、県民の「誰もが・いつでも・どこでも」図書館サービスの恩恵を享受でき、豊かな暮らしの実現や県民・地域の課題解決につなげる環境づくりに努めてきております。

現在、本格的な少子高齢・人口減少社会や地方創生の時代を迎え、明日のみやぎきの「人づくり」「くらしづくり」「産業づくり」という大きな課題

に直面しています。また、子どもから大人まで生涯にわたって読書に親しむ「日本一の読書県」づくりも推進されています。

こうした中、県立図書館は、図書館の貸出やレファレンス、講座等のサービスとともに、市町村立図書館等を経由して図書館を貸し出すマイラインサービスや図書館未設置の町村・学校におすすめの本を届ける「やまびこ文庫」、市町村立図書館等の運営面の助言など「図書館のための図書館」としての重要な役割も担っています。これに加え、今後は、市町村立図書館や学校、大学等の図書館とのネットワークづくりにも力を注ぎ、県内の図書館全体が連携して「地域の知の拠点」としての役割をしっかりと果たしていくべきと考えています。

今年度、県立図書館では10年後のあるべき姿を見据えた「県立図書館ビジョン」(仮称)の策定に取り組むこととしております。百年を越えて脈々と受け継がれてきた先達の思いを「温故知新」の精神で受け止めつつ、時代が求める「生きる力」を育む教育や生涯学習社会の実現、さらにはみやぎきの地方創生に貢献できる県立図書館となれるよう、しっかりとしたビジョンをつくり、職員一丸となってその実現に取り組んでまいりたいと思います。

県民の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



マイラインサービスで本をお届けします！

宮崎県立図書館がもっと身近に!
ご希望の本を、2日であなたのまちの図書館に届けます!

①申込 ②貸出申込(予約) ③発送 ④返却

毎日発送
2日以内には、
近所の図書館に
到着!

マイラインサービス
[My Line]

マイライン (Miyazaki Prefectural Library Advanced Information Network Systemの略) は、県立図書館と県内の市町村立図書館・図書室を結ぶネットワークのことです。

読みたい本がお近くの市町村立図書館(ただし、合併前の宮崎市、清武町は除きます。)になく、県立図書館に所蔵があれば、市町村立図書館・図書室を通じて貸し出ししますので、県立図書館においでにならなくても、県立図書館の本を利用することができます。(ただし、雑誌の最新号及び持出禁止の図書資料は除きます。)

このマイラインサービスは平成28年度より毎日(土日祝日を含む。)発送することになりましたので、早ければ2日でお近くの市町村立図書館にお届けできます。

マイラインサービスは無料ですので、ぜひご利用ください。



訪問支援を開始しました

昨年度より、市町村立図書館・室に訪問支援を実施しており、4月よりやまびこ文庫登録図書館・室を対象とした第1回目の訪問を開始しています。5月11日(木)は美郷町立南郷図書館を訪問しました。

美郷町には、南郷図書館、西郷図書館、北郷図書館の3館があります。南郷図書館は、美郷町神門の南郷支所内にあり、2012年に開館しました。近くには、美郷南学園、保育所があり、幼児、児童、生徒にも多く利用されています。訪問した際も、保育所の園児が先生と来館し、本を読んだり、借りたりしていました。また、医療機関や、高齢者施設、ガソリンスタンド等に大量貸出も行っているそうです。県立図書館のやまびこ文庫で貸し出した図書は、これらの施設にも貸し出されているということでした。やまびこ文庫以外にもマイラインやセット文庫等で貸し出しを行っていますが、地理的に来館して借りることは難しい地域にしながら県立図書館の図書を借りることができるシステムは、住民の皆さんに喜ばれているようです。

今回の訪問では、図書の貸し出しの他、県立図書館図書の活用状況、日常の業務について等さまざまな話をすることができました。今後も、訪問支援で得た各地域の情報を生かして、県立図書館から離れた地域の皆様にも身近に感じてもらえる図書館となるよう、サービスの向上に努めていきます。



◆◆◆ 移動図書館車やまびこ号とのお別れ ◆◆◆

県立図書館の本を県内どこにお住まいの方でも読んでいただこうと、たくさん本を積んで走ってきた移動図書館車やまびこ号。昭和29年にスタートして以来の長い歴史にピリオドが打たれ、昨年6月、本の配送サービス「やまびこ文庫」にその役割を引き継ぎました。

さみしくも、6代目となるやまびこ号が県立図書館を去り、職員で見送りをしました。

さようなら、そしてご苦労さまでした、やまびこ号。



第59回こどもの読書週間

4月23日は、「こども読書の日」です。毎年、この日を含んだ約3週間を「こどもの読書週間」として、全国の公共図書館などがいろいろな催し物を企画しています。

今年も県立図書館では特別企画展示をはじめ、「自然とあそぼう！ネイチャーゲーム～自然の本とこどもをつなぐ～」、児童室担当職員によるワークショップ「おもしろ工作でおはなし～びっくり箱とふしぎなおうち～」、読み聞かせを開催しました。

特別企画展示では、自然に関する本、外国絵本、読み聞かせボランティア団体と児童室担当職員のおすすめの本、布の絵本、昨年度の児童室の貸出しベスト10などを展示しました。

4月23日（日）は、たちばな宮崎シェアリングネイチャー運営委員長で、さまざまな場所で「ネイチャーゲーム」を実施している経験豊富な猪崎悦子先生をお招きし、「ネイチャーゲーム」の講座を開きました。幼稚園児から小学生までのお子様に参加してくださいました。葉や枝のにおい、幹の模様など身近にあっても気付かなかった自然にお子様だけでなく大人の方々も驚いていました。講座で紹介していただいた本はもちろん、自然に関する本をたくさん所蔵しているので、本を借りて、身の回りの自然について疑問に感じたことを本で調べたり、本で知ったことを実際に見て確かめたりして楽しんでいただきたいです。



ネイチャーゲームの様子

また、5月3日（水）はワークショップを実施しました。びっくり箱とふしぎなおうちを作成しましたが、皆自分が考えたお話に合わせたびっくり箱を作るなど工夫がされていて職員も驚かされました。作品を作り上げる喜びを味わい、親子で協力し合っってスキンシップを図る有意義な時間となったと思います。

今後も県立図書館では、子どもの楽しい読書を応援して、家庭や地域でも子どもの読書活動の推進を図っていきます。



ワークショップの様子



特別企画展示
「小さな本の大きなせかい」

【おもしろデータのコーナー】

昨年度の児童室の貸出しベスト10

1	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやまけん／著 こぐま社	6	じごくのそうべえ	田島征彦／作 童心社
2	はらぺこあおむし	エリック・カール／さく 偕成社	7	ぐりとぐらのえんそく	中川李枝子／文 福音館
3	おふろだいすき	松岡享子／作 福音館	8	ぐりとぐら	中川李枝子／さく 福音館
4	100万回生きたねこ	佐野洋子／作・絵 講談社	9	こぐまちゃんおはよう	わかやまけん／著 こぐま社
5	からすのパンやさん	加古里子／絵と文 偕成社	10	ぐりとぐらのかいすいよく	なかがわりえこ／さく 福音館

郷土資料情報

郷土を学び、郷土を考える

～宮崎の歴史と文化に出会う時間～

	展示会・講座名	開催日・会期等	会場・時間等
展 示	企画展 「ぶらぶら日向路Ⅱ」 特別展 「日本の歴史拝見」 特別展 「江戸に学ぶ」 企画展 「城」	4月21日(金)～5月28日(日) 7月11日(火)～8月20日(日) 9月26日(火)～11月5日(日) 1月23日(火)～2月12日(日)	2階特別展示室 開室 9:00～17:00
	巡回展 「山伏の歩いた日向路 ～野田泉光院の旅日記～」	6月15日(木)～7月2日(日) 9月12日(火)～10月1日(日) 12月1日(金)～12月10日(日) 12月20日(水)～1月15日(月)	日向市立図書館 えびの市歴史民俗資料館 日南市国際交流センター小村記念館 宮崎市立佐土原図書館
	共催展「遺跡発掘速報展 2017」 (主催:宮崎県埋蔵文化センター)	8月26日(土)～9月18日(月)	2階特別展示室 開室 9:00～17:00
講 座	文化講座① 「島津家久・豊久父子と日向国」 文化講座② 「もう一人の牧水 小野葉桜」 文化講座③ 「大島島田遺跡から島津荘へ」	6月24日(土) 講師:新名一仁氏(宮崎市職員) 7月22日(土) 講師:九鬼勉氏(元延岡市立図書館長) 8月26日(土) 講師:栗山葉子氏(都城市職員)	2階視聴覚室 13:30～15:30(各回共通)
	古文書講座① 「古文書に親しむ」(全2回) 古文書講座② 「『佐土原藩島津家日記』を読む」(全4回)	6月17日(土) 講師:郷土情報担当所属職員 7月29日(土) // 8月5日(土) 講師:柘植幹雄先生 9月16日(土) // 10月12日(木) // 11月9日(木) 講師:中元暢一先生	2階視聴覚室(※) 13:30～15:30(各回共通) ※8月5日(土) 2階研修室 ※9月16日(土) 2階研修室 ※10月12日(木) 2階研修室

コラム 「江戸時代の測量とレファレンスでの出来事」

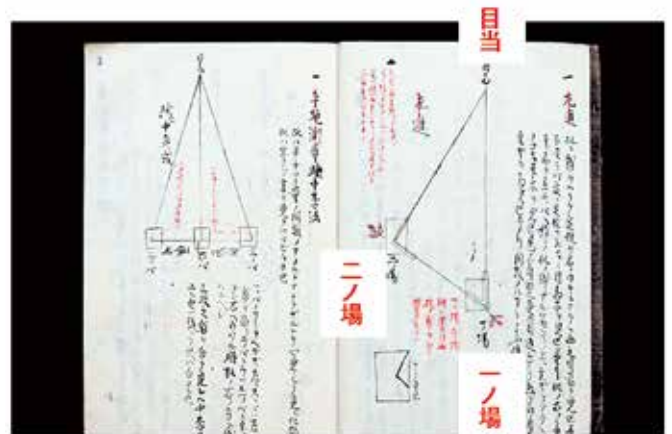
写真の史料は嘉永2～3(1849～1850)年頃佐土原藩の日高重昌が萩原弾右衛門から測量術を伝授された際に書き写した『南蛮流町見口傳覚書』です。写真の中の右側のページには、現代の平板測量にあたる次のようなことが書いてあります。

「一ノ場」と書かれているのが測量の基準点です。そこに「量盤」または「見盤」と呼ばれた平らな板を地面に水平になるように設置します。そして量盤に紙を貼り、その上に定規を乗せ、一ノ場から目当(めあて)と「二ノ場」を見通し、定規に沿って線を書きます。

次に量盤を二ノ場に移動させ、一ノ場から二ノ場を見通して書いた線上に定規を乗せ、二ノ場から一ノ場が見通せるように量盤を設置します。

二ノ場から目当を見通し、定規に沿って線を引きます。すると量盤の紙に実際の目当・一ノ場・二ノ場を結んだ三角形と相似の三角形が描かれます。一ノ場と二ノ場の距離を実測して、縮尺を割り出すと他の二辺の距離がわかります。

この史料は9月26日(火)から開催する特別展「江戸に学ぶ」で展示する予定です。先日、展示会に向けて準備を進めていたところ、萩原弾右衛門の子孫に当たる方がレファレンスにおいてになり、この史料をご覧になりました。お話を伺ったところ、萩原家では、これらの測量方法を「南蛮流町見術(ナンバンリュウマチミノジュツ)」と呼び、一子相伝の秘伝としていたそうです。また、二十八代当主の萩原兼豊は、伊能忠敬測量隊の接待役を務め、一行の身の回りの手配をしながら測量方法を見聞したそうです。史料と人が結びついた図書館ならではの出来事でした。



電算システムサービスの情報

■ 県立図書館フェイスブックページをよろしくお願ひします。

昨年度から、宮崎県立図書館公式フェイスブックページを開設しています。

好評公開中のインターネットホームページとはまた異なるスタイルとコンテンツによる情報発信プラットフォームとして、図書館を挙げて更新中です。

日ごろSNSをお使いの方もそうでない方もぜひご覧ください。



URL <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>

■ 館内蔵書目録検索 (OPAC) の機能を追加しています。



県立図書館では、OPAC(Online Public Access Catalogの略)と呼ばれる館内の蔵書目録をオンラインで検索できるシステムを導入しています。閲覧室と児童図書室に専用の端末機を設置していますが、これまではタッチパネル操作のみに対応する仕様でした。

このたび改修が完了し、マウスとキーボードによる操作もすでに可能となっています。「利用案内」画面の「館内OPACキーボード版」のパネルからご利用ください。

このモードでは、検索ワードなどの入力操作がパソコン感覚でスピーディーにできるようになりました。また、このモードは、ホームページ上のOPACに準じた画面と機能になっており、パスワードを入力してご利用いただく「Myライブラリ」もお使いになれます。これにより、お好きな本をセレクトしてまとめて貸出予約することができるなど、利便性が向上しました。

なお、お探しの本の情報をレシートに印刷されるときは、それぞれの本の「資料詳細」画面に表示されるオレンジ色の「レシート印刷」ボタンをクリックしてください。



■ 利用可能なオンラインデータベース

閲覧室内のオンラインデータベース専用パソコン4台でご利用いただけます。4番カウンターにてお申し込みください。

- ・ 1回の利用時間は30分以内です。
- ・ 閲覧は無料ですが、印刷は有料となります。印刷ご希望の場合はお申し込みが必要です。

法律情報総合データベース D1-Law	憲法から告示まで3万1千件余の法令、約22万件の判例とこれを理解するための要旨・解説情報、また、幅広い収録対象誌から収集した約64万5千件の文献情報等の法情報を検索できます。
官報情報検索サービス	昭和22年5月3日発行分～当日発行分までの官報を日付やキーワードから検索し、テキストまたは原文イメージで見ることができます。
JDreamⅢ	科学技術や医学・薬学関係の文献抄録が検索できるデータベースです。外国語文献の抄録も日本語に翻訳されています。
ジャパンナレッジ	日本語や英語その他様々な言語の辞典から、歴史事典など50種類を超えるコンテンツを有するインターネット百科事典です。
宮日データベースサービス	宮崎日日新聞の2001年4月以降の記事データが検索できます。



図書館の案内コーナー

■名誉館長おすすめの本

当館の名誉館長といえば、若山牧水の研究者で、数々の著作も有する歌人・伊藤一彦氏です。

県立図書館では、熱心な読書家でもある伊藤名誉館長が自ら選んだおすすめの本をご紹介します。

本は、閲覧室にコーナーを開設して展示しています。貸し出しできますので、もしコーナーにないときは予約も可能です。どうぞご利用ください。

今回ご紹介するのは、次の3冊です。



『マチネの終わりに』 平野啓一郎／著 (毎日新聞出版)

現代を代表する作家の新作の恋愛小説である。恋愛小説というと若い人が主人公のように思う人がいるかも知れないが、この本は大人の恋愛小説。ギタリストの男性とジャーナリストの女性の恋愛がスリリングに展開し、読み出したらやめられない。

『歴史の愉しみ方 6版』 磯田道史／著 (中央公論新社)

いま最も注目されている歴史家によるエッセイ集である。「忍者の実像を探る」「先人に驚く」など、読みやすく、面白く、内容は奥深い。著者は堺雅人主演の映画「武士の家計簿」の原作者としても知られる。

『日本文学全集 第29巻 近現代詩歌』 池澤夏樹／編 (河出書房新社)

明治時代以降の近現代詩・短歌・俳句の代表作を集めたアンソロジー。詩は池澤夏樹、短歌は穂村弘、俳句は小澤實の選で、解説文も豊かで味わいがある。詩は島崎藤村・高村光太郎、短歌は佐佐木信綱・与謝野晶子、俳句は正岡子規・村上鬼城から始まり現代まで。

■新着図書



【閲覧室】

『チューリップよもやま話』

木村敬助／著 (西田書店)

チューリップがヨーロッパの園芸界に登場したころの話。日本にチューリップが渡来したころの話、チューリップの野生種のあれこれ・・・。いまや誰にでも知られる花であるチューリップのよもやま話を100話収録する。
(トーハン書評より)



【児童室】

『あかい自転車 ビッグ・レッドのながい旅』

ジュード・イザベラ／文 シモーネ・シン／絵 志多田静／訳 (六耀社)

日本では乗り物と言われて思い浮かべるのは、自転車、電車、バス・・・たくさんあるのでしょうか。しかしブルキナファソなどでは、自転車だけが歩く代わりになるものなのです。自転車が人びとの暮らしを大きく変えます。物を大事にすることの大切さ、自分たちにできることはなにか考えるきっかけになる1冊です。



【郷土資料室】

『宮崎のはなしことば』

大川周士／著 (宮日文化情報センター)

「陸の孤島」と呼ばれる宮崎県。それぞれの地形や気候や文化が生み出した言葉達。自分の生まれた場所や住んでいる場所の方言に改めて触れてみませんか。

県立図書館からのお知らせ

■プレミアムフライデーは県立図書館へ!



月末金曜は「プレミアムフライデー」です。仕事を切り上げたその日の午後は、普段できないことにチャレンジするなど、いつもと違う豊かさを楽しむ時間です。食事や買い物、スポーツのほかにも、図書館でゆっくりと知的な時間を過ごすというのはいかがでしょうか。

県立図書館では、毎月のプレミアムフライデーに合わせて工夫を凝らしたミニイベントを開催し、ご来館とご利用を呼びかけています。どうぞ県立図書館へ!



ミニ写真会の様子(5月)

■文章づくり教室を開催

文章を書くのが苦手という方、読書感想文を書きたいという方、投稿に挑戦したいという方、自分史や文学作品を創り上げたいという方、県立図書館では今年も「文章づくり教室」を開催します。

- ・初級編(2回) 7月23日(日)、8月26日(土)
 - ・中級編(2回) 9月24日(日)、10月22日(日)
 - ・上級編(2回) 11月19日(日)、12月16日(土)
- ※時間はいずれも10:00~12:00で、会場は2階研修室です。



受講定員 各20名(中学生以上。ご希望の回のみ参加も可能です。)

受講料 無料

講師 鶴ヶ野 勉 氏(元高校教員、平成28年度宮崎県文化賞受賞、県教職員互助会文芸誌「しゃりんばい」編集委員長ほか)

■2階スペースをご利用ください



当館2階ロビーの有効活用を考えるため、このスペースに設置していた「学校案内コーナー」を試験的にリニューアルしています。

展示している学校案内のパンフレットなどを閲覧する以外にも、閲覧される方に支障のない限り、休憩や食事、ミーティングなど自由にお使いいただける空間になっています。

なお、今後の有効活用の参考とするため、

利用調査を実施しています。ご利用にあたり、ご協力をお願いいたします。



今年も、年に一度の県立図書館最大のイベント「みどりの図書館フェスタ」を開催します。お楽しみに!

県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。

宮崎県

ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室: 9:00~19:00
■児童図書室: 9:00~17:00

休館日 ■毎週月曜日(祝日の場合翌日)
年末年始: 12/29~1/4
特別整理期間: 2/19~2/26

編集・発行

● 宮崎県立図書館

住所 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1

TEL ■0985-29-2911 (総務・企画課)

FAX ■0985-29-2491 (総務・企画課)

HPアドレス ■<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp>

携帯アドレス ■http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i_index.htm

